

低入札価格調査の実施概要

近畿農政局

工事名：令和８年度京都農林水産総合庁舎本館照明設備改修工事

調査の対象となった業者名：株式会社岡島電設工業

調査項目	内 容
１．当該価格により入札した理由	➤ 継続的な取引のある仕入先から材料を調達しており、安定した供給体制を確保するとともに、適正かつ競争力のある価格での調達が可能。 ➤ 施工協力業者とは継続的な協力関係を構築しており、一体的な施工体制を確保している。 ➤ 施工に要する労務費、材料費及び諸経費を適切に計上している。 ➤ 本工事の入札価格は、施工体制及び品質を確保し企業として必要な利益を確保したうえで、企業努力による施工効率化及び経費削減を反映している。 ➤ 施工協力業者も同種・類似の施工実績を有していることから効率的な施工計画の立案及び施工が可能であり、品質及び安全性を確保したうえでコスト削減を図ることができる。
２．契約対象業務付近における手持業務の状況	該当なし
３．契約対象業務に関連する手持業務の状況	該当あり、１０件
４．契約対象業務箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	距離：約４６km 所要時間：約１時間（車）
５．手持資材の状況	特になし
６．資材購入先及び購入先と入札者との関係	協力業者（継続取引先）
７．手持機械数の状況	電動工具一式
８．労務者の具体的供給見通し	自社及び協力業者にて確保
９．経営内容	建築一式、電気工事業、管工事業、内装工事業
１０．上記１～９を事情聴取した結果についての調査検討	株式会社岡島電設工業の入札価格については、継続的な取引のある仕入先から材料を調達し費用の削減が可能であること、長年取引のある協力業者からの協力を得て、実績のある工事担当者を配置し、効率的な施工を行い工事費全体の低減が可能であること、経営状況についても本工事については問題なく施工できることから、契約内容に適合した工事の履行が可能であると判断する。
１１．経営状況	非公表
１２．信用状態	非公表